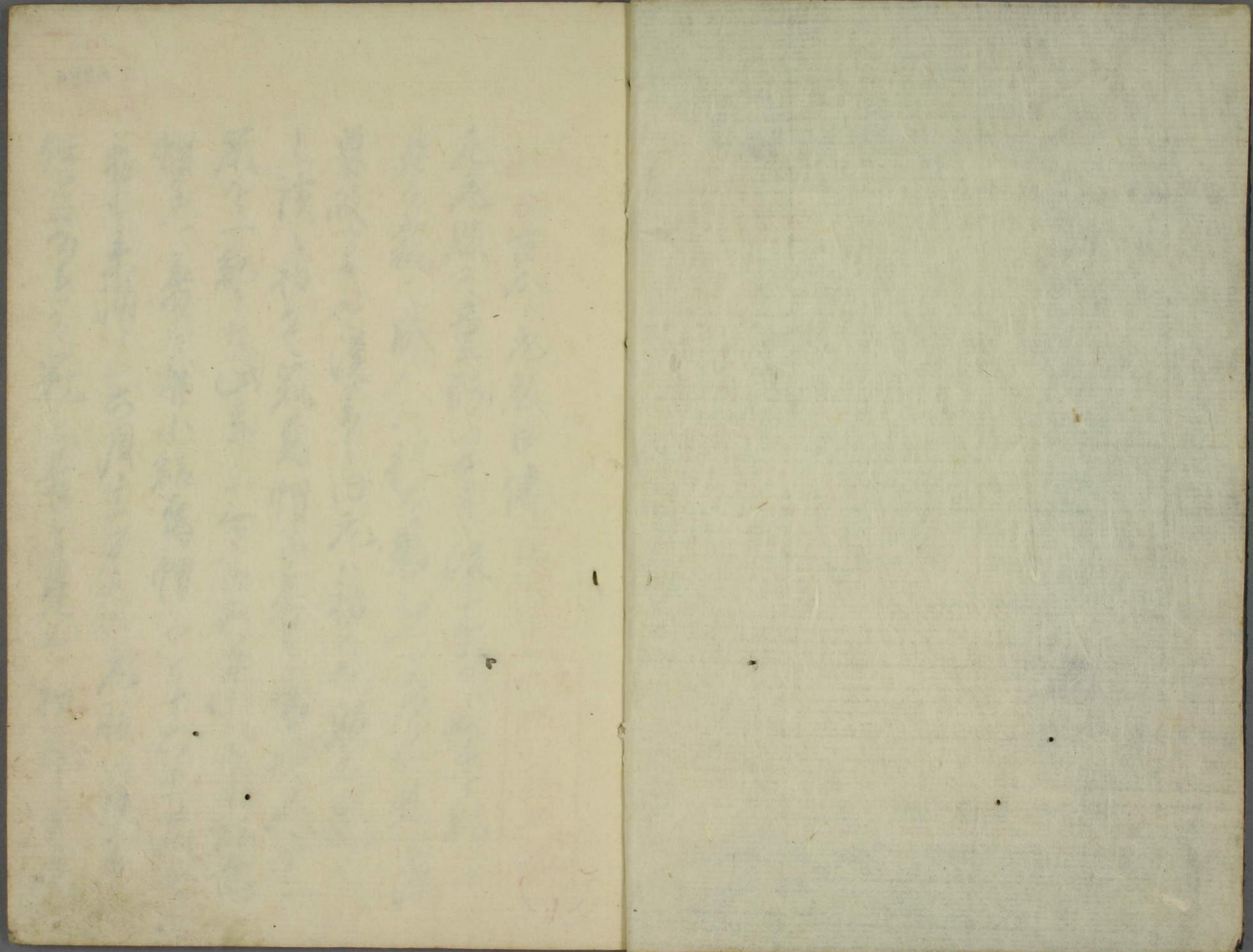




古今元服口傳
全

73
6284







古今元服口傳



去五味均平蔵

凡元服之童形の事、後子成人、髪を結ひて、
是を歳て成人の禮を勤むる也。是を深
曾波と云ふ也。漢書より曰、元、初也。服を冠也。
之後、初を冠焉。帽子著る事也。人十二
歳、一紀と云ふ。此年子成人の年と云ふ。小结焉
帽子著る事也。此小结焉。帽子と云ふ。未滿迄
着る事未滿と云ふ。古月十七也。元服の日あり。
信長何と云ふ。冠を著る事、是を初冠と云ふ。次



とを元服し結する祀儀は神前元服禊ぎして
とすとも、後世に神前元服禊ぎして
悔内乃祈籠ると多く有之、之所、東
園子檀を飾り、練結又、今禊の氷引と
相より、宮上の天井野の真中、結の糸
と、以、東方結を掛、祈禊を色、結を、床の
内上、結の友結を、後、三社を、御禊、三
具、是を、飾り、名、ま、と、ま、ま、を、知、劔、尊
大賢、小、勝、の、教、を、用、ひ、結、子、一、雙、星

鳥、至、程、強、敏、等、と、備、り、也

一三社御禊の時、天照太神、左、
八幡、右、八幡、也、三神の時、中、摩利
支天也、余、を、同、一、又、八幡、氏、神、の、人、を
中、を、八幡、た、を、ま、り、右、を、毘、舎、の、と、御
禊、を、り、也

一五歳七歳、と、色、位、官、の、り、て、祀、冠、の、例
之、何、の、法、を、十、二、歳、を、初、冠、の、法、と、ま、り、也
一元服の髪、と、結、を、禊、髪、乃、後、人、と、ま、り、也

結方髪之栴盤、タカラカシ當刀カシを海曾
次キ之冠爲帽子カシと云ふ人々也。和冠の
後とも爲帽子カシと云ふ也。和髪は爲帽
子カシと云ふ也。何れも程髪は冠共
小細摸の役也。

一丸服の時乃用貝冴杯ニスルツキと爲子搦て丸服
を人の右乃方、出さる。是を俗シロミジと云ふ。髪
實水シロミジと云ふ。二夏の河を川シロミジと云ふ。髪乃
垢を洗ふ也。黄楊栴一具、摺シユ剪セシ力大小一料

是を護刀シロミジ乃筆也。髪、并。是を髪カシと云ふ。栴
あは次シロミジ入栴カシ子載カシをたの月、出シロミジ
一武乃筆力と不用けを漆膠シロミジと云ふ。限シロミジ限
小刀一射シロミジ削シロミジ也。常シロミジは新シロミジ髪小刀と云ふ。一
志シロミジを紙シロミジと云ふ。包シロミジと云ふ。結シロミジと云ふ。た右シロミジと云
同前。栴シロミジ引合シロミジ一系。水引シロミジ根シロミジ松シロミジ二シロミジ年シロミジ敷
栴シロミジ五シロミジ枝シロミジ人壽シロミジ草シロミジ十二シロミジ節シロミジ。穂シロミジのシロミジ有シロミジハシロミジ打シロミジ以シロミジ
用シロミジ中シロミジ親シロミジ子シロミジ草シロミジ五シロミジ葉シロミジ。福シロミジ滿シロミジ草シロミジ一シロミジ枝シロミジ。搦シロミジ栗シロミジ
丸シロミジ、山シロミジ椒シロミジ五シロミジ枝シロミジ。昆シロミジ布シロミジ二シロミジ節シロミジ。乃シロミジ一シロミジ絶シロミジ五シロミジ年シロミジ。栴シロミジ

尚ほと云卿又い愚田の産へ振出せり
髪と云ふして絨多付し流り梳ひの具也
一髪を載せしむる柀の盤は理髪の人より
より也七寸二寸廣サテ寸石あり五寸額
乃由り名三寸切也是より五角也柀は
を自りて思鬼を柀よりと云ふ也柀多
此を草草なるを月の是を櫛の具也
二間草ミツノクサと云は杉の葉を中し梳ひの扱也
一葉のふりて小弓と他は蓬ヨモギの葉を矢

一平他は是より一挺葉一對を毛紙カミと包
右指をうし口傳有馬帽子ウマカボ冠カ冠冠馬帽子
多産人タハヒトの柀ハシ多りなる也
一袷の式は平馬帽子若し人髪は馬帽子
多り他は流り梳ひの具也直葉又
素の袷袴を著る者其の内三方いど
を振る流り梳ひの具也此は冠
理髪の人より進上りの太刀馬小袖袴着
多振る流り梳ひの具也馬帽子著る人

加冠程髪を束併し或は三献か、
ソナリ、
九三二分際より久し、大莫大鳥と料
程とす

一童形の髪結を、真る九前、行ハ七右草
ハ又前是右七冊有、同の道也、真る
天子の御代、行を諸候大夫、草を士度
人も、髪と結、結を、程髪の人、
か、髪を、九角の内、三寸切、
た、方、

馬帽子着の人は、向、
を、
と、
三刀、
と、
ハ、
を、
ハ、
を、

人の官位又を假名と書す神社に納むるは平人
の神社に納むる例あり。傍指を子も紫も色は狐
冠乃人若前、進へて髪とてや。もつひ次
の多く之を髪と馬帽子より代ふゆを内は
出て馬帽子と着ると子夫人可れん。狐冠も
人形前、髪とてや。之後馬帽子を
着せり。いづれか

ゆきやち
衣の行他
ゆきハ十二
髪カは用ひ
結ふとあり
十二又三種の
下下よりて
髪カは用ひ
結ふとあり

一真の髪乃時を、阴阳の筆刀とて、た右の
みを深き髪とて、行草の髪とて

右の口よりてゆきなるを、阴阳の髪とて、小
刀とて、この日の甲乙より、一ひ用ひし、いづれ
一馬帽子より、結縁の筆、髪の子とて、髪とて、
十二巻ゆきたる、景元服の筆、あり、両足あり、
髪とて、解て、たのす、二ツ巻、右の、二ツ
巻、髪乃、先の、巻、是を、菱形、也、
也、上の巻、納ると、二巻、を、納むる也、古今、共
に、結縁、如、是、也、高位の、御方、を、髪、の、平、也、
乃、髪、を、ゆき、を、也、古、に、髪、を、平、也、用

そのり乃後りてす今も物根或は赤銅
也上り乃取ら毎也緑より三方等々の組
て総角よりなり也

一 元服しては氏神又二前の後守へ社名あり
大角馬より奉納也
一 元服髪袖前へ納むり付等より書付娘也

年号
奉納八幡宮御廣前元服髪一髻
月日
小笠原豊松也

右の通り書也海邊へ前書也一官位

一廿髪は、髪は、年十七歳乃十月十五日
前髪を剃る事、中濃の例也、今、髪
是を元髪と云、髪は、前髪と云、
ケ、前髪は、小き元髪を根を十二
若、男結、女結、男結、女結、
男結、女結、男結、女結、
水引、女結、男結、元髪、
髪、乃、髪、髪、髪、
髪、乃、髪、髪、髪、
髪、乃、髪、髪、髪、

髪乃前、出、時、正、髪、人、柳、髪、
乃、小、刀、と、ひ、の、小、刀、と、三、方、
一、髪、時、元、髪、と、云、髪、の、前、
の、上、と、云、髪、時、日、乃、髪、
右、乃、小、刀、と、云、髪、の、前、
乃、小、刀、と、云、髪、の、前、
乃、小、刀、と、云、髪、の、前、
乃、小、刀、と、云、髪、の、前、
乃、小、刀、と、云、髪、の、前、
乃、小、刀、と、云、髪、の、前、

Handwritten text in a cursive script, likely Chinese, spanning across the gutter and onto the right page. The text is faint and difficult to decipher.

